

第10回 議会報告会

10月17日子育て支援センター「ほたるスマイルランド」「おひさま」で利用者と意見交換会、10月23日阿賀野市福祉会館で「手をたたく育成会」と意見交換会、10月25日沖通ふれあいセンターで議会報告会、11月5日水原商工会館で「若手経営者・後継者の会」と意見交換会を開催しました。各会場での質疑、意見の一部を紹介します。なお、掲載内容については要約していますので、ご了承ください。



意見 周りに子供がいない。子どもを産みやすいような対策をしっかりと考えていくべき。東京の大学に行っても地元へ戻ってくるような手立てが必要である。

回答 新潟県の出生率は全国的にも低くはない。進学、就職で東京へ行ってしまふ流れを止められるような対策が必要。若いうちに地元への意識を持ってもらう取り組みも必要だと思ふ。

意見 保育園の入所が難しい。2人子どもがいて、上の子を保育園に入れないと許可されない。

回答 安田地域の保育園は定員オーバーとなっている。他の地域では空きが出ているところもある。

意見 紙おむつの購入費を助成していたら良かったら。五泉市では1人目から出産祝いから3万円の地元限定商品券がもらえる。普段行かない商店で買い物をする。

回答 魅力的な支援は大事なこと。担当へ伝える。

意見 公園が少ない。幼児の遊べる遊具がない。市外へ遊びに行っている。

回答 旧前山小学校跡地で、子供たちの居場所づくりを検討している。

意見 保育園を利用している親から意見を聞く場を設けていくことが大事。

回答 市では次年度からの新制度にあわせて、子育て世帯へ無抽出にアンケートを実施。意見を集約している。これからの政策に反映させていくことになる。直に声を聞くことも必要と考えている。

意見 障がい者の入所施設を阿賀野市に開設してもらいたい。特別支援学校を卒業した後に、施設が少なく飽和状態が予想され、親も高齢化しているのが不安である。

意見 近隣に精神科がない。障がい者の外来から入院までスムーズに地元でできることを希望する。

回答 医師確保には市長をはじめ、議会も県や新潟大学に継続して要望している。

質問 防災行政無線を設置したエリアは間違いないか聞かせるのか。

回答 試験放送を行い、調整をすることなつていく。

質問 今年はごすつちよ商品券が買えなかった。改善してほしい。

回答 消費税の増税と重なり、まとめ買いが多くなった。

意見 水原中学校市民図書室の蔵書が少ない。入口がわかりづらい。

意見 婚活事業や高齢者向け宅配サービスなどを実施する上で、市からの財政措置をお願いしたい。

質問 他の市町村から移住する人に対する優遇施策はあるのか。

回答 空き家バンクシステムや、住宅取得支援事業を行っている。

意見 車で買い物に行くので、大型店に行くところか所足りる。市の中心商店街には駐車場が少ない。

意見 いただいたご意見を参考に、政策立案等に役立てていきたいと考えております。これからも多くの市民の皆様からご参加いただきますようお願いいたします。

市ホームページ内「市議会のページ」に議会報告会の内容を掲載しておりますので、ご覧ください。

次回(3月)定例会の予定

2月23日(月)	議会運営委員会 (定例会の運営方針決定)
3月5日(木)	本会議 (施政方針、議案上程、一般質問)
3月6日(金)	本会議(一般質問)
3月9日(月)	本会議(一般質問)
3月10日(火)	本会議(一般質問)
3月11日(水)	総務文教常任委員会
3月12日(木)	社会厚生常任委員会
3月13日(金)	産業建設常任委員会
3月16日(月)	予算審査特別委員会
3月17日(火)	予算審査特別委員会
3月18日(水)	予算審査特別委員会
3月19日(木)	休会(事務整理)
3月20日(金)	本会議(委員長報告、採決)

2月23日開催予定の議会運営委員会で正式に決定します。その後、市ホームページでもお知らせしますのでご確認ください。

議会を傍聴しませんか

本会議は一般に公開され、どなたでも自由に傍聴できます。
申し込みの必要はありませんが、傍聴席入口で受付簿に住所、氏名を記入していただきます。
市政を知るよい機会です。みなさん議会傍聴においでください。
詳しいことは議会事務局までお問い合わせください。

議会改革推進特別委員会の構成変更

任期(2年満了)により、11月2日付けで次のとおりとなりました。

- 委員長 江口卓王
副委員長 山賀清一
- ◇政策部会
部長 江口卓王
副部長 浅島信司
部長 倉口良一
副部長 山間功位
- ◇広報部会
部長 山賀清一
副部長 市川英敏
部長 高橋幸信
副部長 風間輝栄
部長 山田早苗



12月定例会も終わり、いよいよ新しい年。

国が地方創生に向けて、大胆かつ異次元の対策を一体的に講じる取り組みがいよいよスタートした。市町村中心主義と言われて久しいわけであるが、地方創生のためには、地域に住む人達が一番。住民福祉の各種サービスが適切に届けられるか、更には豊かな生活のためのなりわいが必要で、魅力あるまちづくりが今は求められている。

そうした観点から地域住民の皆様と膝詰めで議会報告会を開き、市民の声が何より重要と考え、住民にとって一番身近な存在である議会と自治体の取り組みがますます重要不可欠と認識している。

(広報部会部長 山賀 清一)

阿賀野市議会改革推進特別委員会広報部会

- 部長 山賀 清一
副部長 市川 英敏
部長 高橋 幸信
副部長 風間 輝栄
部長 山田 早苗